

## 校長先生の日記②⑦ 文化祭特集

**音楽会** 秋桜祭2日目の午後は、音楽会でした。1年生から9年生までが練習してきた成果を思う存分発揮しました。1年生のかわいい歌声が9年生になるとこんなふうに磨かれるのか。子どもたちの成長の過程を感じる音楽会でした。最後の「山と湖の町から」の大合唱も素晴らしかったです。指導者の富澤先生からは、この信濃小中学校での9年間の連続した学びの価値を、歌をとおしてたくさん褒めていただきました。



**3年生：オブラディ・オブラダ** みなさんご存じの軽快なメロディ。今年から勉強を始めたリコーダー演奏が加わり、さらに英語の歌詞でも歌いました。3年生らしい元気な歌声が、音楽会の始まりにふさわしかったです！



**2年生：ドレミの歌** 元気いっぱいのドレミの歌。途中に「ドレミパイプ」が入って、楽しい気持ちになりました。ダンスが入っていたり、1組と2組で輪唱になったり。工夫やアレンジがたっぷりのドレミの歌でした。



**1年生：33びきのねこ** 本当には101匹のねこですが、信濃小中ではかわいい33匹のかわいいねこが、劇にダンスに大活躍。写真を見るだけで、どんなにノリノリだったか分かりますよね？初音楽会にははなまるです！



**4年生：ビリーブ 会津磐梯山** 先生の柔らかい指揮に合わせて美しいビリーブを歌ったかと思ったら、難しい会津磐梯山を3部合唱でばっちり歌い上げた4年生。歌に自信がもてるって最高です。次は高等部だ！



**5年生：ツバメ** 急に大人っぽい曲になり、さすが高等部だと思わせる歌声でした。歌詞の思いをしっかりと表現できるように歌うことができました。美しいソプラノとアルト、テノールの音の重なりが美しかったです！



**6年生：リフレイン** 指導者の富澤先生をもうならせた6年生の歌声。実はとても難しい曲で、表現するにはかなりの力が必要との心配をよそに、しっかり表現できました。30日の合同音楽会でも全力で歌います。



**7年生：空は今** 語りかけるような歌詞とメロディ。自分たちの空を表現したいと、合唱してくれました。変声期に突入中の男子も、必死で音程を定めて支えてくれました。美しいハーモニーでした。さすがは高等部！



**8年生：ひかり** 男子のパワーに支えられ、安定した合唱になりました。次は私たちがという希望に満ちた力強さを感じることができました。指揮者のすべてを把握した采配が、歌を盛り上げてくれました。頼もしい！



**9年生：花になれ** 美しいソプラノ、安定したアルト、変声期を終えた男子の低音。9年生の合唱はやっぱり圧巻でした。9年間の集大成がここにありました。こんなふうに圧倒的な憧れの存在としていてくれてありがとうと心から言いたいです。みんなここを目指していけばいいのですから。これが信濃小中学校の強みです。



**全校：山と湖の町から** 全校での大合唱。初等部のかわいらしい声から、9年生の大人の声まで4楽章が四季を表現します。5章では春の訪れを高等部の声に、初等部が重なって明るく、壮大に表現します。こんな合唱ができる学校はあるでしょうか？ここに信濃小中学校の原点があります。これから先もずっと歌い継がれる名曲です。



「山と湖の町から」を作曲してくださった富澤 裕先生が、本番も見に来てくださいました。9月21日の指導に引き続きの来校でした。指導したときよりも上手になっていたと褒めていただきました。

「人は勝手にうまくなるのではなく、「うまくなろう」「こんな姿になりたい」と思うことで、うまくなるし、めざす姿になれるんだ。そのことを忘れず、また1年間頑張ってください。また来年会いましょう」とお言葉をいただきました。

子どもたちはすごいとたくさん褒めていただいて、わたしも嬉しくなりました。信濃小中学校を見守ってくださる方々がたくさんいて、本当にありがたいです。



もう一人。静かに信濃町立信濃小中学校を見守ってくださっている方が。峯村 均初代校長先生です。

9月21日のご指導の日も来校され、子どもたちの練習の様子を見守ってくださいました。音楽会当日も客席からそっと見守ってくださいました。

峯村先生の強い願いから生まれた「山と湖の町から」は信濃小中学校の、信濃町の宝になっていくと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れず、力強く歌い継いでいきたいと思います。最強の信濃小中学校応援団のお二人に心から感謝申し上げます！